

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 3 年12 月10 日

事業所名：かたつむりハウス上津台

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	1階は少しあそべるように、少し騒がしくてもいい環境にしている。2階は小学高学年から中学生などパソコンや落ち着いたことをする部屋にしている。	ほぼできている。	第二の事業所に多い人数の時に苦手とする子を分けて、利用してもらう。
	2 職員の適切な配置	個別対応が必要な子に対しての職員配置は確保している。	できている。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	個室がないのでクールダウンする場所をパテーションで仕切ってイヤマフをつけてもらっている。	まあ、できている。	第二の事業所ができるので、音に敏感な子を分けることができる。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	確保できている。	できている。	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	その日の子供たちが来る前に、スタッフの打ち合わせ、担当を決めて療育も伝えていっている。月1回の全体会議での支援もみんなが共通理解で次月の支援方法と考えて取り組んでもらっている。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	この自己評価結果によって改善が見えてくる。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	1ヶ月に1回 全体研修をオンライン研修として取り組んでもらっている。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	できている。		
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	無理やりでなくて、その子が参加できるように工夫したり、家や学校の様子も参考にして計画している。		
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	計画通りにいかない場合は都度、家庭と連携とりながら、変更して、その子に合ったものの支援を再考している。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	その日のメンバーを見て、それぞれどんな支援をしていくか、今日の療育と合わせて担当や仕方を考えてやっている。	できている。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	なるべく集団療育は参加してほしいので、各利用者を考えてプログラムを考えている。		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇はゆったりと過ごせているんな体験してもらいたいのので、遠足や畑作業、工作、クッキングなどの計画で支援させてもらっている。	できている。	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	毎週の音楽療法のみ、同じ療育だがその中身も変えていっている。なるべくみんなが参加できるような内容を、考えて取り組んでもらっている。メンバーや天気、などいろんな要素を考えて、療育を工夫している。		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	常勤でまずきめて、非常勤の先生に伝えたり、意見を求めたりしている。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	その日の支援の仕方や様子を伝えてもらい、常勤で話し合っ、次の支援の工夫を考えている。		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	次の日に、話し合って記録して、支援の工夫を考えて記録して、非常勤の方に伝えている。		
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	1ヶ月に1回、モニタリングをして、その子の変化を記録している。			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	学校での支援がうまくかみ合っていない時に、会議を設けて、その子の支援の方法を考えることに参画した。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談支援員さんからの情報を保護者からいただいたり、支援員さんからの電話で、その子の特性を伝えてもらっている。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	子ども部会など市のとりまとめをしている部署などに連絡して情報提供してもらっている。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関での研修は、コロナの中、実施されて泣く、オンラインで他社の研修は行っている。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	母体が、保育所経営なので、季節の〜狩りの時には一緒に活動する機会がある。	できている。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	ハロウィンや季節の行事に外部へのお誘いもしている。	できている。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学の時にどんな支援をしているか、具体的なことを説明したり、利用者負担も説明している。	できている。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	丁寧な説明に心がけている。	できている。	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者会をしたり、支援計画の時の懇談で、支援の提案をしたりしている。	できている。	
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	何か困った行動や、学習支援での共通理解などでの親御さんとのやり取りはでんわや、メッセージなどでやっている。	できている。	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	悩まれていることは電話されたりしてくるのでその都度対応している。	できている。	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	今年は一度やる。コロナ中なので、1回のみ。来年は2回予定	できている。	
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情は電話であつたりするので、すぐに対応させてもらった。	できている。	
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	お母さんから伝わりやすい子は予め、連絡して、お子さんに伝えてもらっている。	できている。	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月の予定表、イベントのお知らせはお手紙で知らせている。フェイスブックにイベントや行事内容など伝えている。	できている。	
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵のかかるロッカーに個人情報ファイルは保管している。	できている。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルは一か月に一回の全体会議での周知、緊急連絡先はファイルにまとめている。保護者へも伝えている。	できている。	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に4~5回の災害訓練を行っている。	できている。	
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止のために話し合いをして、周知している。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	重要事項説明書に掲げている。(他人へ危害をくわえようとしたときに、抑えること、それを行った場合、その親御さんに連絡すること)		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	あらかじめアレルギーのあるものを聞いて対応している。		
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットがあった日は必ず、報告書をあげて検証している。		